

— 新着図書案内 —  
**読書計画**

令和3年10月28日  
日田高等学校図書館発行

『ほたるいしマジカルランド』 寺地はるな // 著

大阪蛍石市にある老舗遊園地「ほたるいしマジカルランド」。「うちはテーマパークではなく遊園地」と言い切る名物社長を筆頭に、たくさんの人々が働いている。ある日、社長が入院したという知らせが入り…。汗と涙と笑顔に溢れたお仕事小説。



(ポプラ社)



(文藝春秋)

『透明な螺旋』 東野圭吾 // 著

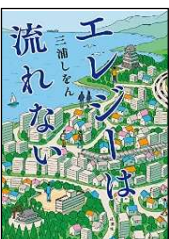
房総沖で男性の遺体が見つかった。失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の名が。刑事・草薙は横須賀の両親のもとで過ごす湯川学を訪ねる。「愛する人を守ることは罪なのか」。ガリレオシリーズ最大の秘密が明かされる。

『硝子の塔の殺人』 知念実希人 // 著

雪深き森で、燦然と輝く、硝子の塔。この建築物で事件が起こる。館の主人が毒殺され、ダイニングでは火事が起き血塗れの遺体。さらに、血文字で記された13年前の事件…。謎を追うのは名探偵・碧月夜と医師・一条遊馬。著者初の本格ミステリ長編。



(実業之日本社)



(双葉社)

『エレジーは流れない』 三浦しをん // 著

山と海に囲まれた餅湯町。のどかでさびれた街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫り来る進路選択、自由な友人たちに振り回され、悩み多き日々を送っていたが…。

『ギタンジャリ・ラオ STEMで未来は変えられる』  
ギタンジャリ・ラオ // 著、堀越英美 // 訳

強い意思を持ち、失敗にめげず、プロセスを根気強くたどれば、世界を変えていける。世界が注目する15歳の科学者ギタンジャリ・ラオが、テクノロジーと自らのアイデアで問題解決に挑む“イノベーション”を、誰もが実現できる5ステップとして伝授する。



(くもん出版)



(河出書房新社)

『建築家になりたい君へ』 隈研吾 // 著

建築物は大きいけれど、その仕事は小さなことの積み重ねでできている。国内外で多数のプロジェクトを手がける日本を代表する建築家がいま、伝えたいメッセージ。

『宇宙の見え方が変わる物理学入門』 小林晋平 // 著

宇宙に関するワクワクするような話題をより深く理解し楽しむためには、「物理学の考え方」を知っておく必要がある。次元、ビッグバン、重力波、量子論…。宇宙をより深く理解し楽しむための、物理学の基礎を解説する。



(ベレ出版)

『日本のSDGs それってほんとにサステナブル?』 高橋真樹 // 著



(大月書店)

官民挙げて推進されるSDGs。でも中には疑問符がつく例も…?本当に持続可能な社会をつくるには、「ロゴだけ」ではない本質を見極める目が市民にも必要。各分野の日本の現状と取り組み例を紹介しながら問題提起する。

『「利他」とは何か』  
伊藤亜紗 // ほか著 (集英社新書)

『これならわかる韓国・朝鮮の歴史Q&A』

三橋広夫 // 著 (大月書店)

『マンガでわかる高校生からのお金の教科書』

小柳順治 // 原作, 十屋つぐみ // 画 (河出書房新社)

『みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT』

遠藤まめた // 著 (ちくまプリマー新書)

『ヘイトスピーチと対抗報道』

角南圭祐 // 著 (集英社新書)

『池上彰の世界の見方 アメリカ2』

池上彰 // 著 (小学館)

『難しい本をどう読むか』 齋藤孝 // 著 (草思社)

『廃炉「敗北の現場」で働く誇り』

稲泉連 // 著 (新潮社)

『原発事故は終わっていない』

小出裕章 // 著 (毎日新聞出版)

『保存食&食べ方テク』

ダンノマリコ // 著 (朝日新聞出版)

『やきもの文様事典』

陶工房編集部 // 編 (誠文堂新光社)

『バレーボール ライバルに差をつける! 自主練習シリーズ』

高橋宏文 // 著 (ベースボール・マガジン社)

『花のことは12ヶ月』

川崎景介 // 監修 (山と溪谷社)

『小説8050』 林真理子 // 著 (新潮社)

『みとりねこ』 有川ひろ // 著 (講談社)





## Q.「新書って何ですか？」

現在1年生の朝読書の時間に、ただ好きな本を読むだけでなく、「設定されたテーマの本を図書館で読んでみよう」というとりくみが行われています。2週間ごとに「英語」「進路」「新書」というテーマが設定されていますが、図書館で「新書って何ですか？」と質問されます。「新しい本（新刊）」や「新着図書」のことだと勘違いしている人もいます。



## A.「新書」とは本のサイズを表しています。

「新書」とは新書判（105×173mm）サイズの本のことで、様々な出版社から「〇〇新書」として出版されています。専門分野の入門書的な内容のものが多く、大学の入試問題等にもよく使われますので、新書を読むことに慣れておくことは入試対策にもおすすめです。一般の書籍より小さいサイズなので、本屋や図書館では一般の書架とは別に新書コーナーがあります。日田高校の図書館では、さらに小さいサイズの文庫判（105×148mm）の本と一緒に並べています。



日田高校図書館の「文庫・新書」の書架。カウンターの前です。新着図書コーナーや小論文対策のコーナーにも「新書」は置いてあります。



## 新着図書コーナーの「新書」より

### 『はじめのニュース・リテラシー』 白戸圭一//著（ちくまプリマー新書）

誰もが情報発信できる現代、ニュースの「信用度」を的確に評価することは、さらに喫緊で重要な課題となった。ニュースの作られ方から陰謀論の構造までを精査。「情報」とどのように付き合っていけばよいかについて、なるべく平易な言葉を使って考察する。

### 『スポーツする人の栄養・食事学』 樋口満//著（集英社新書）

「スポーツ栄養学」は著しく進歩し、食事の質や摂取の仕方によって、コンディションやパフォーマンスに大きな違いが生じることが明らかになった。ジュニアからシニアまで、よりよい結果を出すための栄養・食事術をQ&A形式で詳細に解説する。

### 『理系女性の人生設計ガイド』 大隅典子//ほか著（講談社ブルーバックス）

理系の学部出身の女性は増えているとはいえ、理系であることを生かして活躍する女性はまだ少数派。そんな「リケジョ」はどんな場所でどのような仕事をして、どのようなプライベートライフを送っているのか。理系女子としての生き方をイメージするための1冊。

### 『ヤングケアラー 介護を担う子ども・若者の現実』 澁谷智子//著（中公新書）

超高齢社会を迎え、介護を担う若い層も増えているが、その影響は18歳未満の子どもにも及んでいる。彼ら「ヤングケアラー」の現状について、調査データ、当事者の声、海外の事例、現在の取り組みを紹介。人口減少時代の家族の在り方とケアの今後を問う。



※10月27日～11月9日は読書週間です。ぜひ図書館をご利用ください。